

医療事故情報収集等事業 第33回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業（対象：平成25年1月～3月に報告された事例）

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成25年			合計
		1月	2月	3月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	266	203	311	780
	報告医療 機関数	156			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	38	4	28	70
	報告医療 機関数	28			
報告義務対象医療 機関数		273	273	273	-
参加登録申請医療 機関数		660	667	671	-

第33回報告書39～42頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成25年1月～3月	
	件数	%
薬剤	61	7.8
輸血	2	0.3
治療・処置	214	27.4
医療機器等	20	2.6
ドレーン、チューブ	58	7.4
検査	38	4.9
療養上の世話	287	36.8
その他	100	12.8
合計	780	100.0

第33回報告書48頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業（対象：平成25年1月～3月に発生した事例）

- 1) 参加医療機関数 1,107（事例情報報告医療機関数 607施設を含む）
- 2) 報告件数（第33回報告書64～70頁参照）
 - ①発生件数情報報告件数：157,646件（報告医療機関数 474施設）
 - ②事例情報報告件数：8,007件（報告医療機関数 84施設）

2. 医療事故情報等分析作業の現況

従来「共有すべき医療事故情報」として取り上げた事例に、さらに分析を加え、「個別のテーマの検討状況」の項目で取り上げています。今回の個別のテーマは下記の通りです。

- (1) 血液浄化療法（血液透析、血液透析濾過、血漿交換等）の医療機器に関連した医療事故 【第33回報告書 92～108頁参照】
- (2) 血液凝固阻止剤、抗血小板剤投与下（開始、継続、中止、再開等）での観血的医療行為に関連した医療事故 【第33回報告書 109～134頁参照】
- (3) アドレナリンの希釈の呼称に関連した事例 【第33回報告書 135～147頁参照】

3. 再発・類似事例の発生状況（第33回報告書148～174頁参照）

これまで個別テーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が発生したものを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例は下記の通りです。

- (1) 「製剤の総量と有効成分の量の間違い」 (医療安全情報No. 9) 【第33回報告書 151～156頁参照】
- (2) 「MRI検査室への磁性体（金属製品など）の持ち込み」 (医療安全情報No. 10) 【第33回報告書 157～165頁参照】
- (3) 共有すべき医療事故情報「ベッドのサイドレールや手すり (第13回報告書) 【第33回報告書 166～174頁参照】
に関連した医療事故」

*詳細につきましては、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。